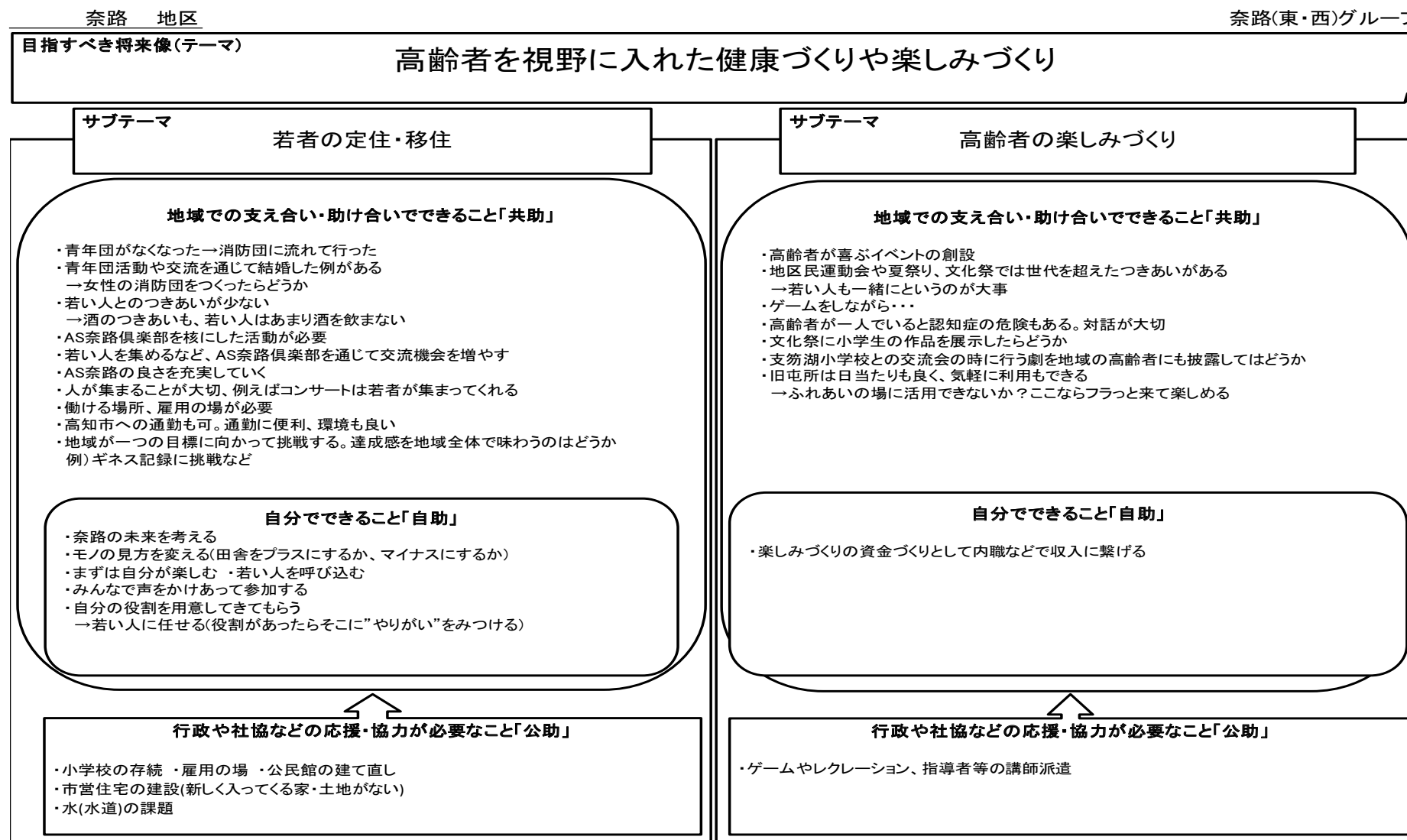
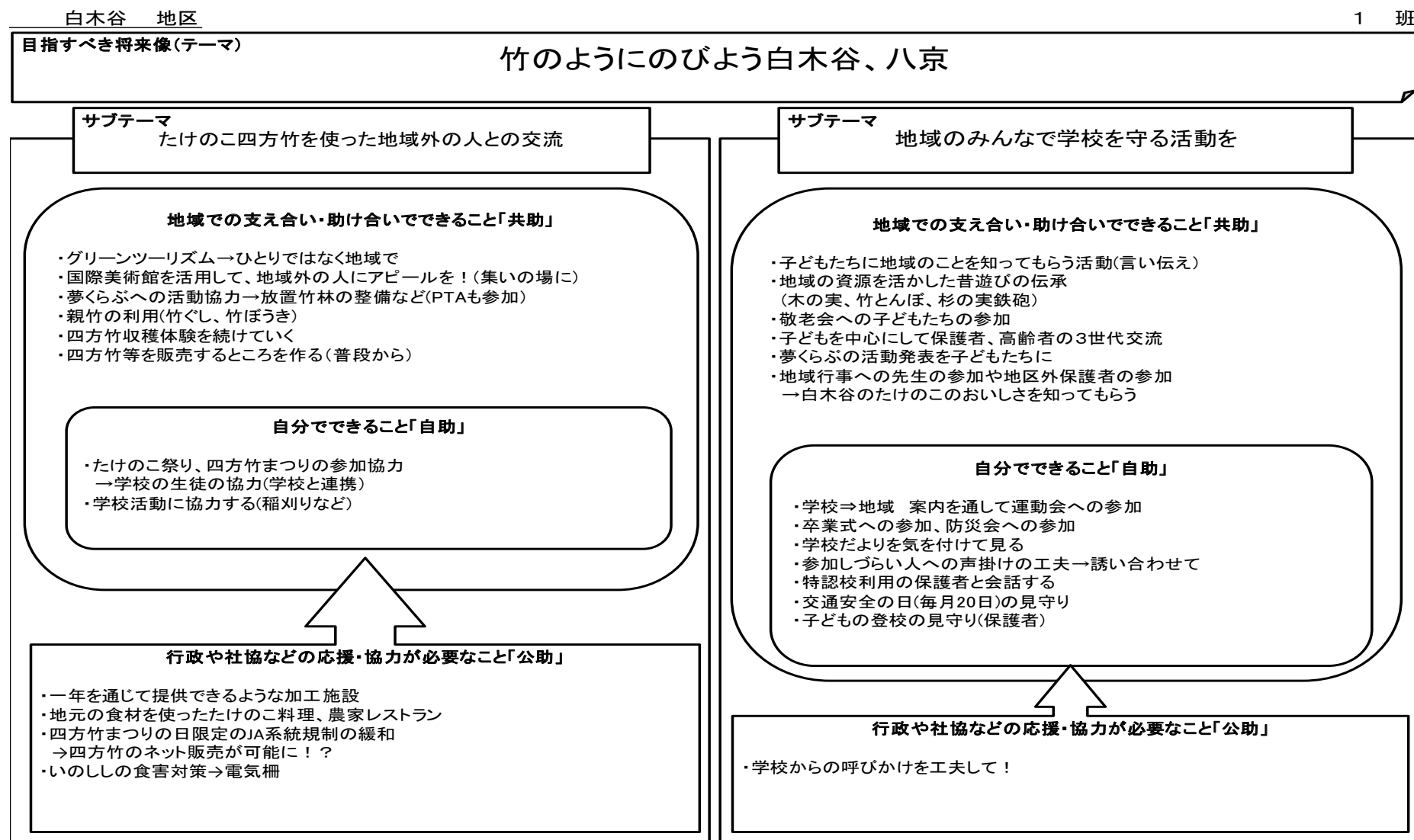


3 地区支えあいづくり座談会結果

(1) 奈路地区



(2) 白木谷地区



白木谷 地区

2 班

目指すべき将来像(テーマ)

子どもの声が聞こえる桃源郷

サブテーマ

若者の定住

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・週末ホームステイ
- ・夏祭りなどイベントをいっぱいする
- ・小学校の先生に住んでもらう様、声掛けする
- ・子どもの口コミを増やすようにしたい(田植えとか)

自分でできること「自助」

- ・子どもに声を掛ける⇒我が子！

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・インフラ整備(交通、通信)

サブテーマ

中高年の生きがい

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・サークル(60～70代)→踊り→赤岡の弁天座、山田の八王子で発表
- ・俳句サークル(大人～子ども)学校も取り込む
- ・四方竹の共同加工
- ・休耕田(畑)の復活
- ・借し農園への土地提供(以外と高知市に近い)

自分でできること「自助」

- ・サークル活動ののついでに外でPRする
- ・家庭菜園
- ・営農指導

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・インフラ整備(交通、通信)

目指すべき将来像(テーマ)

白木谷地区から出て行きたくなる地区！！

サブテーマ

生きがいづくり(道路整備、交通手段)

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・人が集まるための環境づくり⇒花を植える
- ・移動スーパーに地区へ来てもらう
- ・地域生産物を直売所へまとめて持って行く
- ・地域で売る所を準備して、いこいの場所をつくる
- ・四方竹、たけのこ祭りだけではなく、1回／月の割合でイベントをして、交流の場を設ける(蛍、花火、釣り、モトクロス、料理教室)

自分でできること「自助」

- ・地域にあるもので地域おこし
- ・アトスペースさわと梅見は今行っている
- ・農家民宿→自ら作った物が売れる→生きがい
- ・四方竹、たけのこ祭りを1回／月行う
- ・花見にはわざわざ外部からくる(梅、桜、つつじ)
- ・見る場所の整備

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・空き家、空き地の利用
- ・マイクロバスでよい(1回／週、HP,買い物)
- ・買い物の代行(サンブラザは要望があれば来てくれる→駐車場必要)
- ・生協の個人宅配もあるが・・・。
- ・各スーパーが迎えに来てくれて店舗で買い物できる
- ・PR・広報

サブテーマ

若者が住みたくなる地域

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・「白木谷同窓会」を進める⇒イベントを利用して
- ・15日会に誘う(現在男性のみ、女性も誘ってもらう)
- ・絵馬の復活
- ・大人も子どもも参加できる体力づくり
- ・スポーツ(卓球)を皆で一緒にする
- ・お祭りの際、コミュニケーションを図る
- ・地域おこし⇒白木谷夢くらぶ

自分でできること「自助」

- ・家を構える
- ・墓を守る意識を植え付ける
- ・祖父母と同居であった
- ・専業農家では生計維持困難⇒兼業を営む
- ・食物は自らつくる⇒食費の軽減となる
- ・イベントごとに若者(子ども)に声掛けする

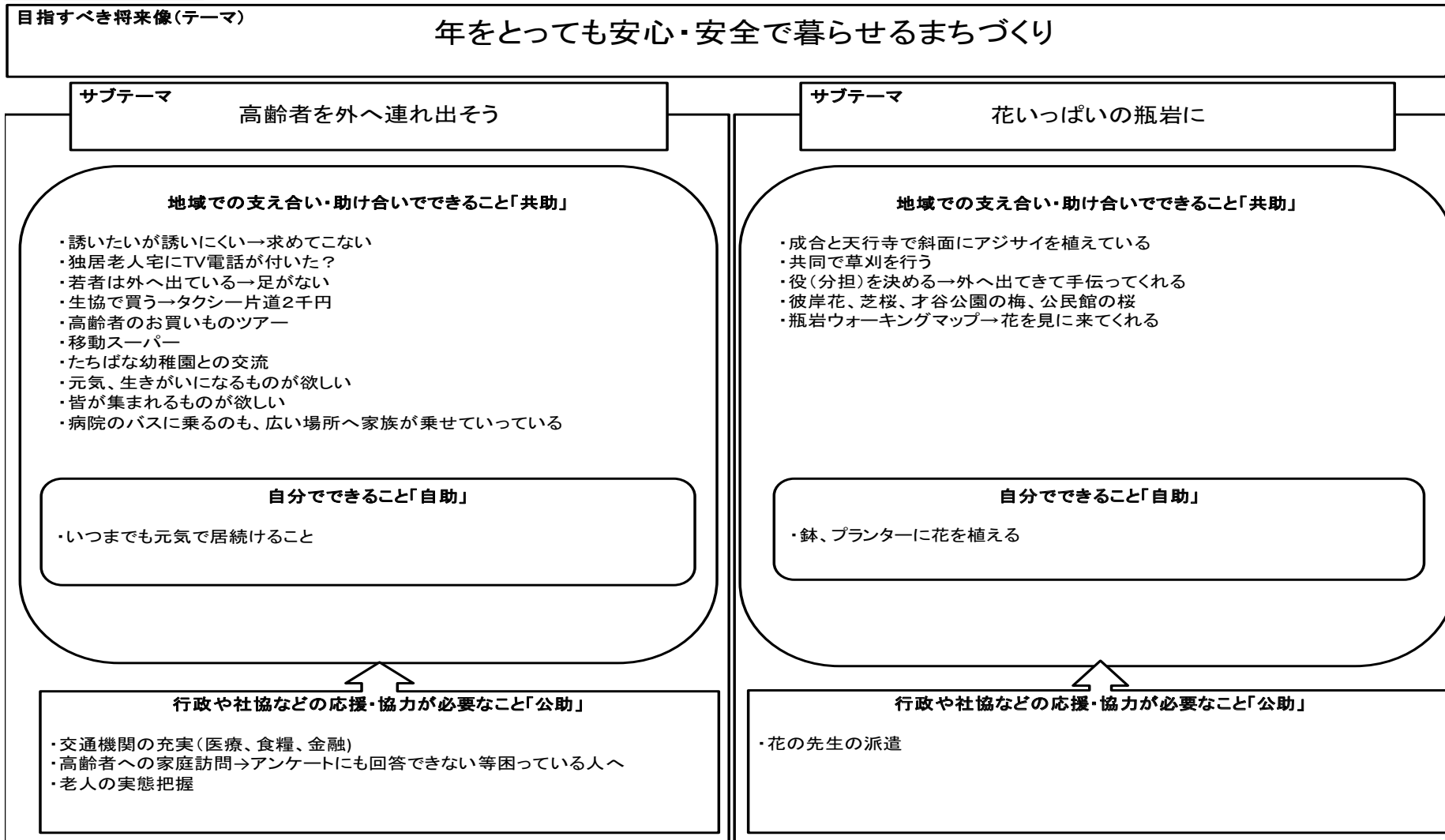
行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・放林、竹林の伐採⇒竹が生えて困っている
- ・竹林への道の整備
- ・古い竹を処分することへの補助(金)
- ・チップ、竹くずの有効利用

（３）瓶岩地区

瓶岩 地区

１・２ 班



目指すべき将来像(テーマ)

Newリーダーによる「地域おこし」でいきいきと暮らせる瓶岩地区

サブテーマ

気軽に集える拠点づくり(避難場所)

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・地区住民で株式会社をつくる
- ・瓶岩、奈路等、広い範囲で考えては？
- ・まとまりにくい地区を宍崎を中心にまとめてみては？
- ・何がするなら今がチャンス！→まだ元気な者がいる
- ・空き家を借りる→やはり広い所がいい
- ・若い人を雇えるくらいの給料を出す
- ・緑竹栽培

自分でできること「自助」

- ・趣味を生かす ・社会参加
- ・「地域に育てられた」という自覚が薄い
→「地域のおかげで自分がある」と思って貢献している
- ・現職の時から地区に関わってもらい！
- ・若い人の声を聞いてみる

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・役所の退職者に中心となしてほしい
→なかなか中心となる人がいない

サブテーマ

自主防災の強化

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・各部落で支えることが大切
- ・安心、安全が基本
- ・日頃から話し合いをしておく
- ・土砂崩れ、倒壊の危険
- ・防災訓練→若い人も来た
- ・若い人にも参加してもらい防災意識を高める

自分でできること「自助」

- ・日頃から危険な物を置かない等気を付ける
- ・3日分くらいは備蓄しておく
- ・各家族ごとに防災について話し合いをしておく！
→ひいては地域のまとまりもできてくるのでは！
- ・自分の命は自ら守る

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・各部落に一時避難所作りの支援を
- ・防災無線の整備
- ・瓶岩公民館は進入路が少ない

（４）久礼田地区

地区 久礼田

グループ 1 領石 植野

テーマ 若い人が「住んで良かった」と思える地域づくり

サブテーマ

若い人が望んでいること！

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・若い人となじみの関係を作る
- ・個人情報地域でどう考えるか
- ・領石の地域にお知らせする（公園）
- ・子ども会へ協力（カレー作りなど）
- ・子どもの顔がよくわかるようにする
- ・児童公園を通して地域のつながりを考える
- ・アンケートとられた返答①
- ・児童公園の様子をみる
- ・公園のネーミングを変える
- ・地区民運動会へ参加を促す
- ・自治会へ参加していない人が多い
- ・若い人との会話は難しい
- ・委員会の中に子ども会を入れたら？
- ・地区外から転入した方へのアプローチ

- ・自治会の中で、子ども会で話し合える場

- ・若い人だけの座談会を実施（３回くらい）してもらい、意見を知る

行政や社協などの応援・協力が必要なこと

サブテーマ

共有！

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・地域の良い所をアピール
- ・地域の良い所をアピール
- ・地域を売り出す（マップ作り）
- ・ウォーキングルートを作る
- ・景色・環境が良い
- ・集落でお花見とかやっては？
- ・子どもと一緒に参加できるヨガ
- ・蛭のすむ地域（自然がきれい）
- ・芸能大会への参加 保育を巻き込む
- ・地域の若い人に本音を聞く
- ・自然保護（川）
- ・蛭を守る会がある

- ・社協の声がけで、若い世代も巻き込んだイベントを実施してもらいたい

行政や社協などの応援・協力が必要なこと

地区 久礼田

グループ 2 久礼田東

サブテーマ

多世代で交流

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・隣近所の人と物々交換（おすそ分け）
- ・子どもを知る（親しくなる）
- ・子どもが田畑で遊ぶのを温かく見守る
- ・子どもの遊びの伝達

- ・登下校時の児童・生徒への声かけ（挨拶）
- ・小学生の頃から交流をする（なついてもらう）
- ・公民館活動
- ・ウォーキング大会を続行する

- ・地域のもろもろの行事への積極的参加
- ・共同作業に出たときに積極的に挨拶・話し合い
- ・大人になった時に戻れるようにしなければ
- ・昔遊び

- ・講師の派遣
- ・アンケート収集

行政や社協などの応援・協力が必要なこと

テーマ 多世代で地域おこし（交流）

サブテーマ

地域の活性化

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・諸行事に家族で参加し、知らない人とも挨拶・交流（話し合い）
- ・草刈り等の作業

- ・地区民運動会の昼食・親睦会を家族単位から⇒集落単位に

- ・夏祭り・地区民運動会は続ける
- ・若い者に来てもらわなければ
- ・世話役を作らなければ
- ・子ども会の行事、少なくなってしまった

行政や社協などの応援・協力が必要なこと

地区 久礼田 グループ 3 久礼田西 テーマ 長宗我部時代の歴史が多く残る久礼田に「住んでみたい・住みたい」魅力ある地域づくり

サブテーマ

伝統を引き継いで、その魅力を子ども達に伝えていく

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・少子高齢に立ち向かう
- ・住みやすい久礼田を
- ・地域から発信

- ・子どもと一緒に楽しみたい
- ・久礼田の良いところを伝えたい
- ・水難を防ぐ
- ・のど自慢
- ・川祭り
- ・皆で地域づくり
- ・提灯の付け方を教える
- ・色んなことを伝えるために

- ・すぐ家を建てられない
- ・住人を増やす
- ・都市計画について→調整区域
- ・地区計画を起す

- ・岡豊山の歴史を広める
- ・岡豊・国府・久礼田 連携する
- ・ウォーキングコースを作る
- ・地域の取り組みを吸い上げてもらいたい

行政や社協などの応援・協力が必要なこと

サブテーマ

地域コミュニティを守る

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・一番小さなコミュニティの単位 常会に加入する
- ・常会組織を絶やさない
- ・近所付き合い
- ・ゴミ捨てなどの手助け
- ・行事に参加する
- ・協同の作業に参加する
- ・家族構成などが分かる
- ・権利だけでなく義務も果たす
- ・自分だけでなく、周りのことも考える

- ・常会同士のつながり
- ・運動会（74回） 回覧
- ・独居者への見守り→助け合い
- ・見守り・防災→所在の確認をしあう

- ・志留組
- ・冠婚葬祭
- ・病氣見舞い

行政や社協などの応援・協力が必要なこと

地区 久礼田 グループ 4 植田

サブテーマ

地域のつながりを強めよう

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・イベントがきっかけで仲良くなる
- ・みんなが参加可能
- ・イベント参加しよう

- ・子どもを取り込む
- ・団地の人は植田の部落へ溶け込んでいない
- ・仲間をつくりたい（団地の人は）
- ・団地の中では保護者同士で仲良く遣ろうとしている

- ・秋祭りは一番人が集まる 続けることが大事
- ・地震が会ったことでつながりが大事だと分かった
- ・周りの人と仲良くやっていると、災害時不安になる
- ・避難所へ行って、一人ではさみしい

- ・若い人をこの会へ呼んでもらえたら……仲良くなれるかも
- ・敬老会の名簿ください（地区と名前だけでいい）

行政や社協などの応援・協力が必要なこと

テーマ 笑顔で暮らせる地域づくり

サブテーマ

体と心の健康

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・わか・ガエる体操
- ・積極的な気持ちを持つ

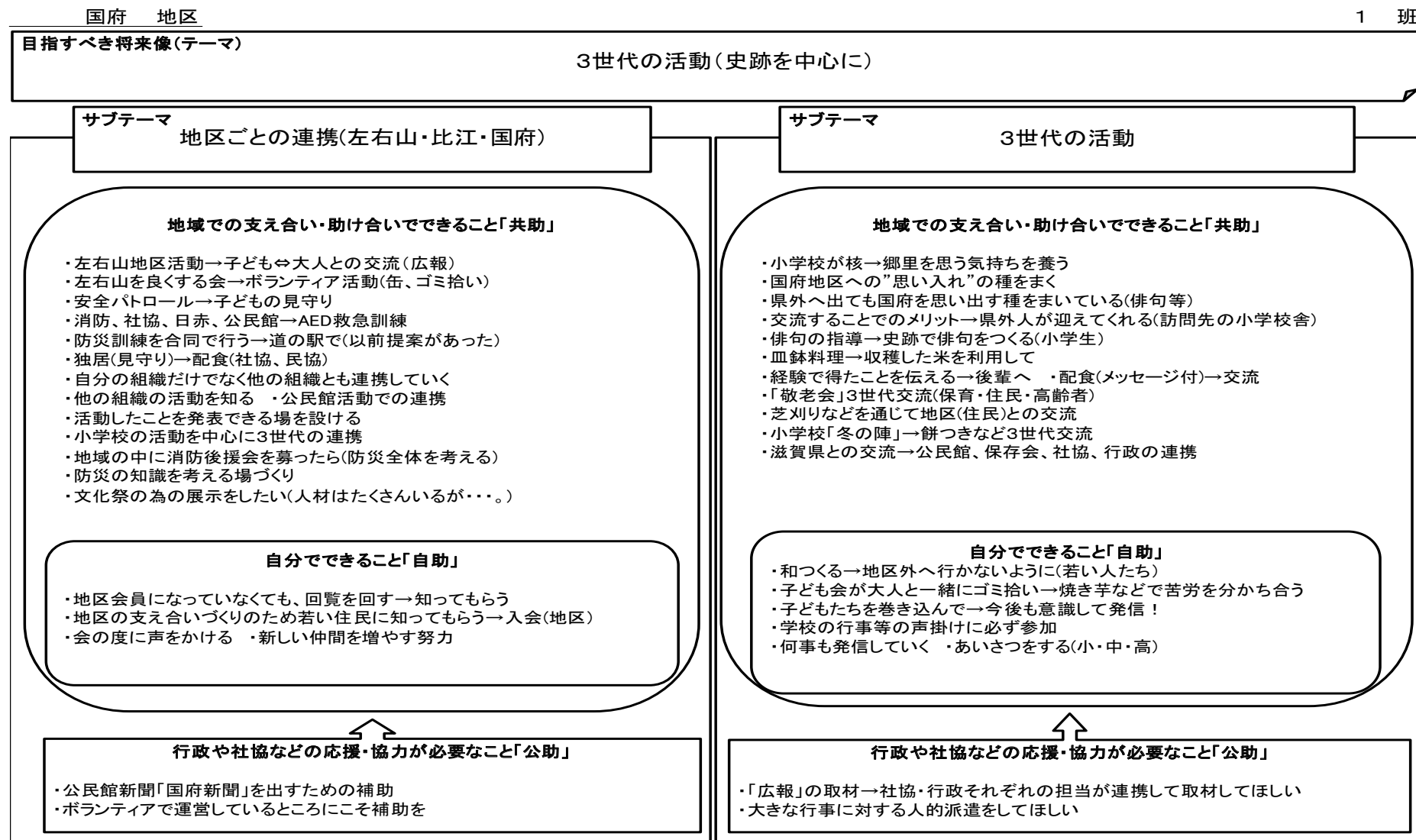
- ・相談相手が欲しい
- ・出て来ていない人が心配

- ・役に立つ何か欲しい
- ・子どもと一緒に散歩会

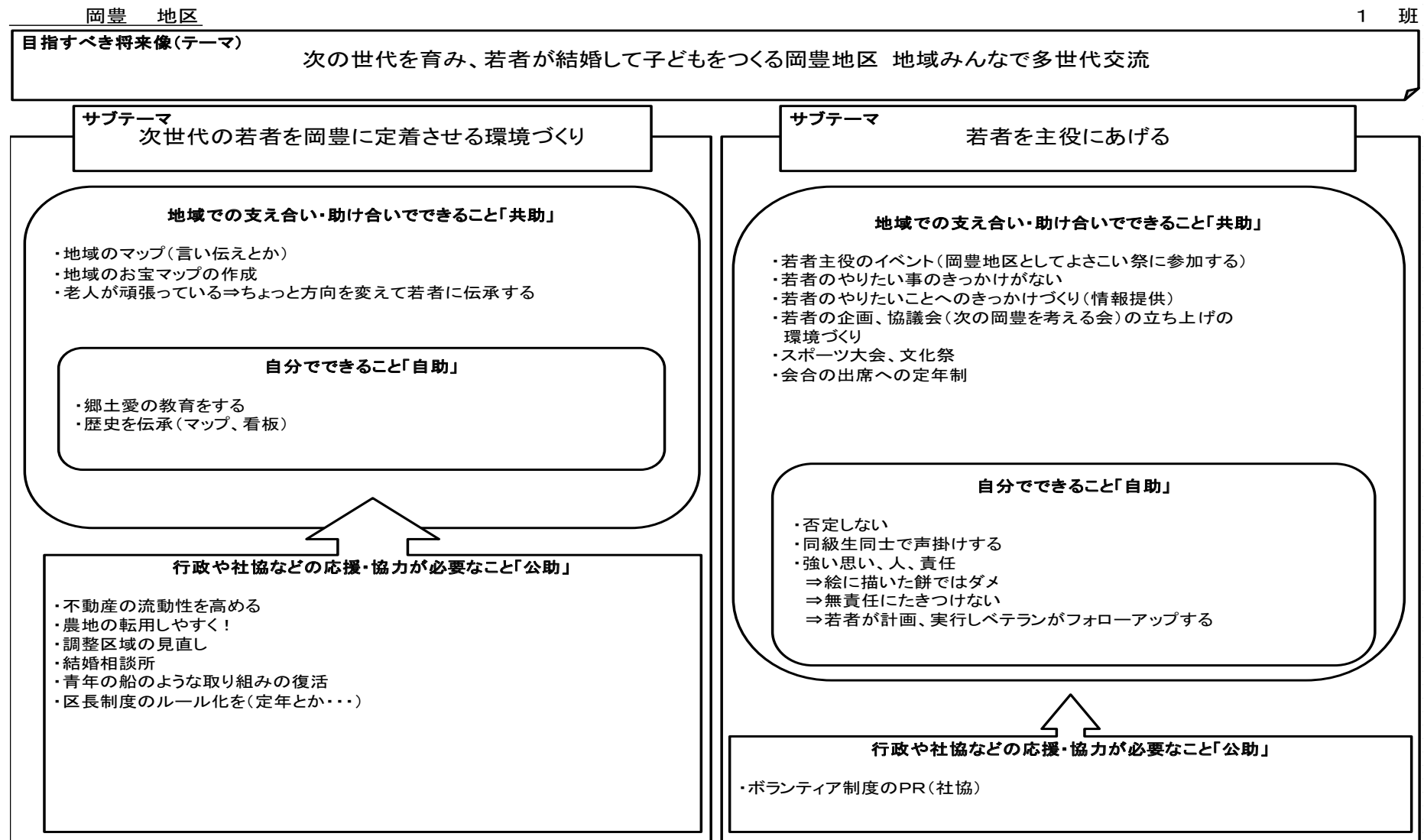
- ・困った事があつたら相談してほしい（遠慮、恥、みつともない）→抱え込んだら大変
- ・啓発・広報

行政や社協などの応援・協力が必要なこと

（５）国府地区



(6) 岡豊地区



目指すべき将来像(テーマ)

歴史と文化のかおる街

サブテーマ

お年寄りから子どもまで地域に出てきやすい岡豊地区

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・お手伝いの必要な人は⇒日頃の付き合いが重要
- ・日頃から積極的な交流を図る
- ・会の名前を変える(例えば「老人会」)
- ・気軽に来れるような会の雰囲気づくり
- ・居残り教室など学校を地区の交流の場に利用する
- ・学校、保育所など、子どもがいる所を中心とした交流の場をつくる

自分でできること「自助」

- ・できる人は、自分のことは自分で
- ・まず自分が参加する
- ・気楽に来れるような声掛け
- ・老人クラブのお知らせを一軒一軒伝える
- ・世話役さんに協力する

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・保育所民営化を機に、地区集まりの場を設ける
- ・空き教室を交流の場、ふれあいの場に活用する

サブテーマ

岡豊山を中心とした地域外の人との交流を目指す

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・続けていくことで、他の人にも知ってもら
- ・さくらまつり、食ー1グランプリを続ける
- ・夏祭りを続ける
- ・国分川をきれいにする会の活動
- ・土手周辺の活用及び活用後の管理(桜の木を植えるなど)
- ・笠の川、川の花を愛する会の活動⇒地域交流になっている
- ・若い人をイベントリーダーとして育てる
- ・八幡様のお祭りで3地域のつながりを続ける
- ・イベントを続けていくことで地域内外への周知を目指す
- ・歴史民俗資料館を活用したイベント
- ・高知医大との交流を続ける
- ・花の管理、維持を続け、地域外の人をもてなす

自分でできること「自助」

- ・花の手入れのボランティアの広がり
- ・地域の美化活動に参加する
- ・イベントのお手伝い(準備、清掃)
- ・口コミでイベントを周知する(声掛け)

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・地区内に史跡などの案内板の設置
- ・県外客をおもてなしの心で出迎えてほしい(警察)
- ・イベントに来た県外客を対象とした警察のネズミ取りが厳しく、県外客に悪いイメージができる

目指すべき将来像(テーマ)

人が集まる、人口を増やす取り組み

サブテーマ

子どもからお年寄りまで集える場所づくり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・【共通】防災訓練⇒集まった時にレクリエーションを
- ・みんなが参加できるスポーツ
- ・地区でのお祭り
- ・絵馬づくり(子ども、老人クラブ)
- ・子ども、若者、高齢者との親睦
- ・夏祭り

自分でできること「自助」

- ・特技と趣味を若い人に伝える
- ・防空頭巾づくり
- ・ちょうちんづくり

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・建物の整備(防災)
- ・マイクロバス提供
- ・都市計画見直し

サブテーマ

継続的なイベント

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・【共通】防災訓練⇒集まった時にレクリエーションを
- ・炊き出し
- ・運動の後の宴会
- ・花見を兼ねたイベント
- ・子ども会と老人クラブ(いきいき)と一緒に
- ・準備に手間のかからない催し
- ・文化祭+産直市
- ・ウォーキングの後に団子で
- ・季節ごとのイベント
- ・お月見でお話をする(子どもに)

自分でできること「自助」

- ・集まってこれるよう啓発、工夫
- ・後継者(サキヤリ)をつくる

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・一緒に考える
- ・各種イベントへのバックアップ

目指すべき将来像(テーマ)

多世代で岡豊地区を守る

サブテーマ

向こう三軒両隣

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・共に助け合う心がけ
- ・1人で生活している人には気を付ける
- ・具合の悪い人がいれば様子を見に行ってみる
- ・若い人を育てる
- ・生活情報の共有(非常時等)
- ・古き佳き日本の心を思い出す時間を作る
- ・若い人が特に部落の活動へ参加しない
- ・土産のやりとり(農産物を含む)
- ・会合により地区の文化を伝える
- ・戦前、戦中の日本人の習慣、風習を思い出す

自分でできること「自助」

- ・隣近所の人達とコミュニケーションを持つ
- ・都会に出て行ってる子に帰省時、隣にあいさつに行かず
- ・積極的にあいさつ、声掛け
- ・地域の催物に出かける
- ・地域の行事への参加を通じて人を知る

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・行政関係者は地域へ出て！！

サブテーマ

地域で子どもを育てる

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・子どものイベントに地域の方も参加する
- ・子ども会の活性化
- ・地域で学校の先生の話聞いてみる
- ・地域のイベント開催
- ・ラジオ体操
- ・子ども会への助成
- ・青年部の活動の活性
- ・一斉清掃への参加
- ・子ども会の育成、強化

自分でできること「自助」

- ・声掛け(あいさつ)
- ・言葉の交流
- ・下校時刻に通学路の散歩
- ・子どもたちに注意できる大人になりたい

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・行政関係者は地域へ出て！！
- ・群(ムラ)活動の育成を図る

(7) 長岡東部地区

長岡東部地区

グループ ①

サブテーマ

つながりづくり

地区での支え合い・助け合いでできること

近隣所・集落での支え合い

自分でできること

- ・ 気くばり、声かけ ⇒ 仲間を知り合う
- ・ 地域の資源を知る
- ・ 地域の人が参加出来るような行事
- ・ 来てもらうこと、行って活動も大事
- ・ 「来て」の声かけ、お互いに声をかけあう関係づくり
- ・ 声かけ ⇒ 仲間づくり、共有できる趣味や話題、小さい「和」をたくさんつくる、子供会との交流（特技を教える）、子どもから教わることもある。

- ・ 近所の人が参加できる行事（子どもさん、じいちゃん、ばあちゃん）
- ・ サロン
- ・ 地区の行事を保育園でやっては？
- ・ 若年層への働きかけ（場所、機会）
- ・ 役をやらず（やることで育つ）、適材適所を見つける。

- ・ 得意分野を活かせる地域
- ・ 育成しても活動の場所がない
- ・ 地域の会の中で人材を見つけていく

行政サービスの周知していない

↓
活用法を教えてほしい

行政や杜協などの応援・協力が必要なこと

園の行事を通して親同志の
関係づくり

「あいさつ」

テーマ

リーダーの育成

サブテーマ

助け合い（チームワーク！）

地域での支え合い・助け合いでできること

近隣所・集落での支え合い

自分でできること

- ・ あいさつをする
- ・ 人をおだてて働いてもらう
- ・ 自分の得意なところを発信
- ・ 奉仕の精神（サービス）
- ・ 「ばか」になる

- ・ 地域でゴミひろい
- ・ 自分でできること（地域）してもらう ⇒ 考えてもらう
- ・ 一つの目的を地域で取り組む
- ・ 無駄も必要！！（つくる）
- ・ リーダー養成の認識を考えなおす
- ・ 親も育てていく、職員も育てていく

- ・ 子どもが変われば親も変わる
- ・ みんなが生きていくために

↓
自分でできることを考えながら生きる

親に余裕がない！
地域の「宝」という
言葉が生きていない
（忘れられている）

課題

行政や杜協などの応援・協力が必要なこと

長岡東部地区

グループ ②

テーマ **絆を深める**

サブテーマ

防災

地区での支え合い・助け合いでできること

近隣所・集落での支え合い

自分でできること

- ・避難場所の確認
- ・これまでの災害を後世に伝える、具体的にできること身につくこと
- ・防災に対する意識を高める、危機意識をもつ
- ・家庭で災害時の話しをする、知識だけでなく具体的に行動する
- ・自分の身は自分で守る、防災について知識をつける

- ・隣近所で防災の話しをする
- ・皆で防災の取り組みをする（タンスの固定とか）
- ・近所の人と仲良くする
- ・近所の「絆」たすけあい！！

- ・公民館同士で知識を分けあう
- ・一時避難所をつくる
- ・訓練
- ・自主防のリーダーの育成

- ・公民館の建て替え
- ・情報伝達、情報の開示
- ・指導体制を統一する

行政や杜協などの応援・協力が必要なこと

サブテーマ

- ・地域の行事にどう参加してもらうか
- ・地域の活動はいっぱいある

地域での支え合い・助け合いでできること

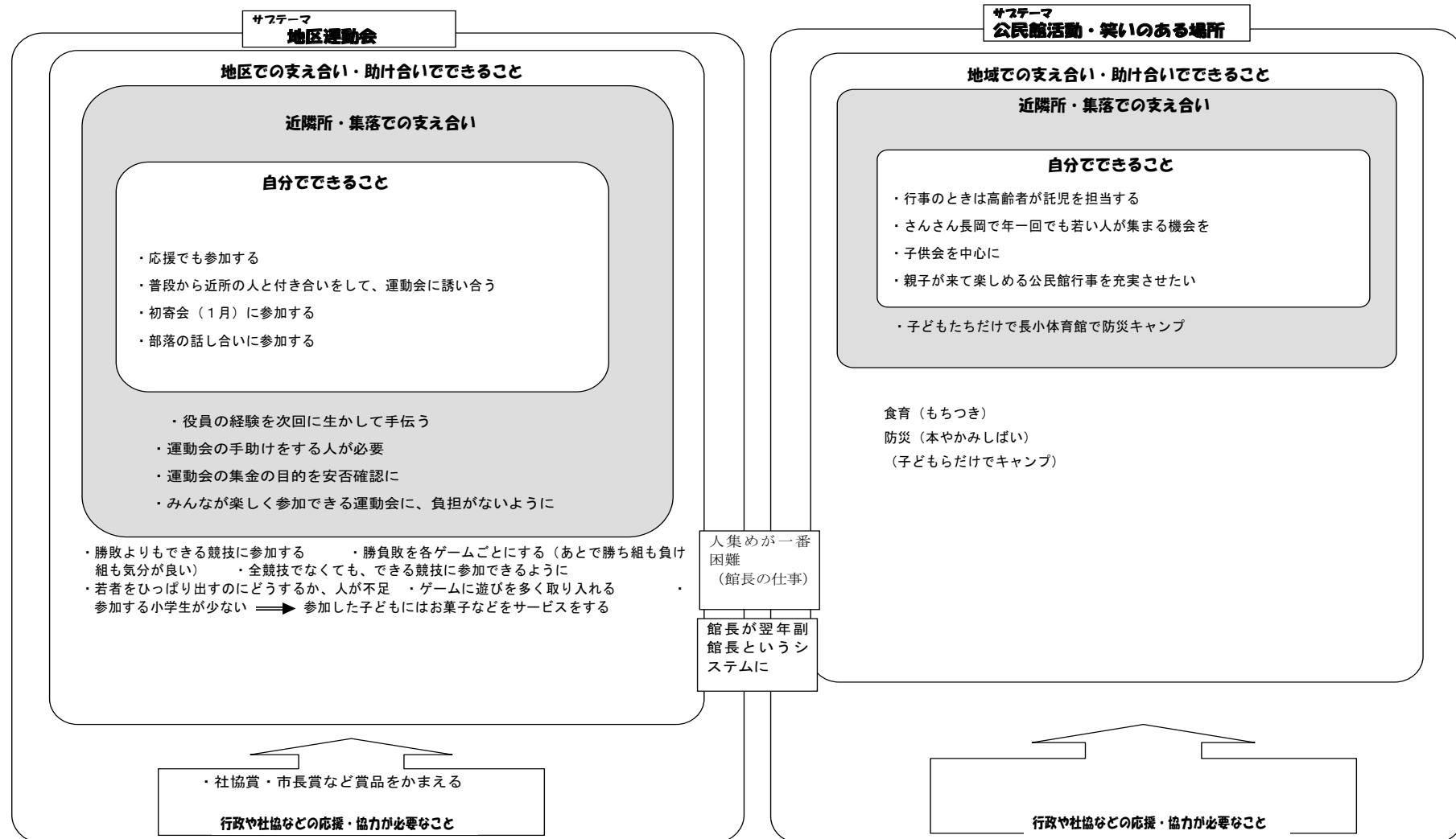
近隣所・集落での支え合い

自分でできること

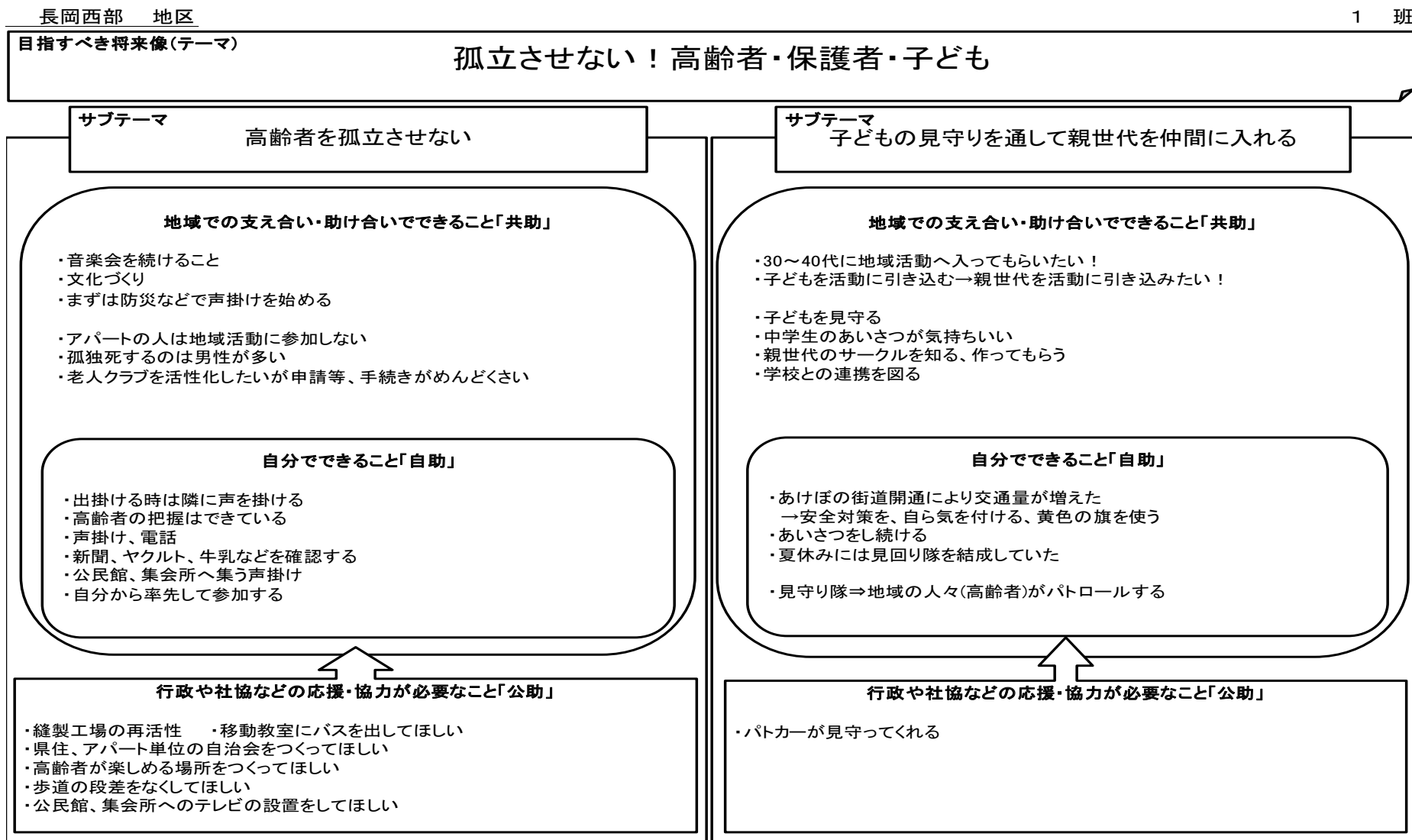
- ・つながりがなくても行く！

- ・集落を単位にする、集落が集まって仲良く！
- ・ゴミ拾い、地域で集まって何かしようと声をかけあう
- ・部落に参加しない人への対応、公民館が連携する
- ・地域のリーダーの育成
- ・次世代へつなげる

行政や杜協などの応援・協力が必要なこと



（８）長岡西部地区



目指すべき将来像(テーマ)

孤立させない！高齢者・保護者・子ども

サブテーマ

防災対策で地域の活性を

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・地道な声掛け
- ・防災会→防災面からコミュニケーションのきっかけに⇒地域結束
- ・コミュニケーションには個人情報壁に・・・。

自分でできること「自助」

- ・どこへでも出かけている⇒情報の発信
- ・声を掛けあう
- ・地域の若い人の把握

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・お金を出してほしい

サブテーマ

保育所を中心にコミュニケーション

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・保育所の「ゆとりの部屋」を使って→高齢者の集い、子どもの関わり
- ・「ゆとりの部屋」に高齢者を呼んで子どもとのコミュニケーション
→草引き、大工仕事、草履づくり等を子ども会に伝承
- ・保育園→散歩に出て高齢者への声掛け
- ・保護者の広がり→南Pのソフトボール大会→飲み会にケーションで
- ・連携には保護者の参加が必要
- ・活動を披露する催しの開催
- ・保育所で保護者同士のつながりを手助けする

自分でできること「自助」

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・子育て支援→行政への相談
- ・市民館だより→広報
- ・話を聞くところから

（9）野田地区

野田 地区

1 班（2回目）

目指すべき将来像（テーマ）

魅力ある活動を通じて「子ども～大人～高齢者」仲の良い上下西野田地区（若い！若い！野田）

サブテーマ

防災について考える

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・集中豪雨、地震対策などを考えて話し合う交流会をする
- ・小、中、幼稚園を集めて防災訓練を行う
- ・独居老人を把握して世話人を決めておく
- ・班内のコミュニケーションをとる
- ・地域での飲み会、交流会に集まり顔を覚える
- ・西野田はアパートが多く、人の出入りが多いため覚えづらい
→不幸があれば一人100円集める等で覚えていく
- ・幼稚園等などの子どもさんへの手助けチームを地域で決める
- ・防災について聞く会の実施
- ・逃げる際、車でどう逃げるかマップをつくる（何度も確認）

自分でできること「自助」

- ・家庭で避難ルートを決める
- ・非常食を構える（水・乾パン・薬・電燈）
→玄関に備蓄品を、靴はベッドや枕元に
- ・津波は上流からくることも考慮し幾つか決めておく
- ・家具の固定
- ・お風呂の水を置いておく
- ・普段から防災についての意識づけや指導を行う

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・避難場所や交差点の標高が知りたい
→標高をもとに避難ルートをつくる

サブテーマ

魅力ある地域づくり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・若い人の参加
- ・運動会の声掛け→種目も若者向きに変更
- ・地域あつての市役所であるのでOBの人らの協力をお願いしたい

自分でできること「自助」

- ・市や社協のOBに参加の声掛けをする
- ・役所の人交代すること
- ・PTAの中で地域福祉交流担当をつくる
- ・PTAを活動に巻き込む
- ・なんとしても若い人たちに今日のような会に出てもらう

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・投票率のUP！を目指す（若い人の投票）
- ・農地の転用がしやすいように
- ・保育園の定員を増やしてほしい
- ・野田保育入所は野田の住民を入所させ若い人の定着を目指す
- ・日が決まっていれば病院、通院時の近所のサポート

目指すべき将来像(テーマ)

魅力ある活動を通じて「子ども～大人～高齢者」仲の良い上下西野田地区（若い！若い！野田）

サブテーマ

仲の良い上・下・西が一緒に活動

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・バンドサークル→発表する
- ・学校の空き部屋を利用→子どもと関わる
- ・ソフトボール大会
- ・地域とPTAの対抗
- ・世代間交流
- ・地域の力がある上、下、西

自分でできること「自助」

- ・地域の人を知る
- ・反省会 飲みにケーションも一緒
- ・若い人を育てる集まれるような基盤づくり
- ・現在の活動を続けていく
- ・声を掛けあう

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

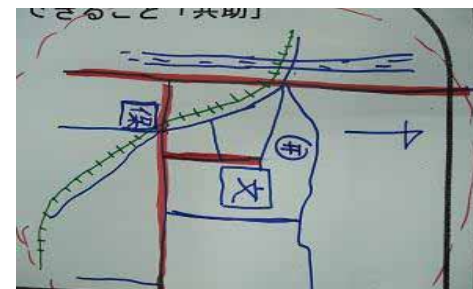
- ・地域活性化補助金の継続

サブテーマ

あいさつロードに向けての取り組み

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・道路の整備
- ・高校生の缶拾い→地区でも
- ・地元、学校、保育で看板づくり
- ・あいさつのできる地域
- ・自主的にあいさつができる園児
- ・保育と地域のつながり



自分でできること「自助」

- ・自分からあいさつする

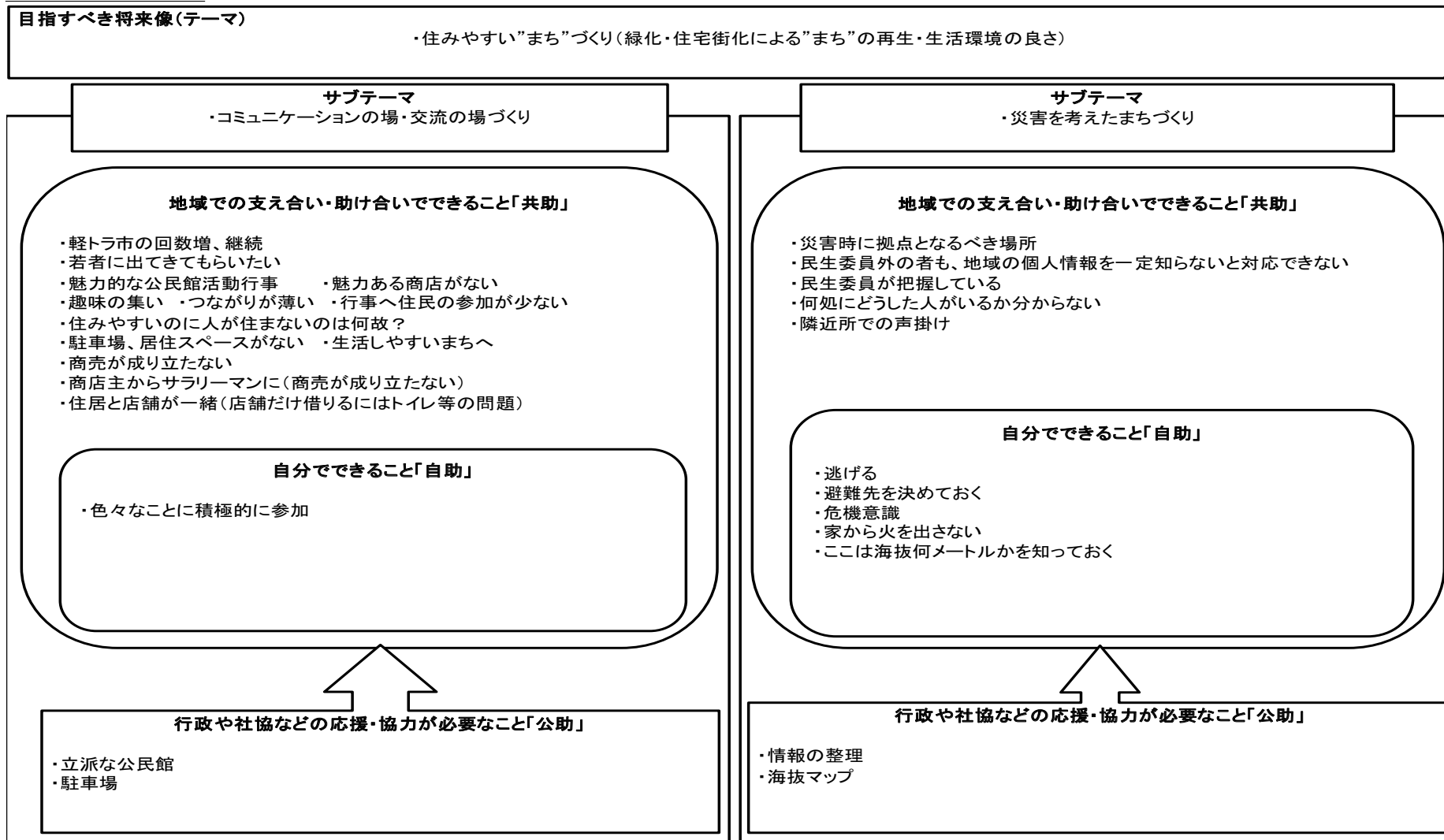
行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・社協にお金を出してもらう
- ・道路の整備
- ・教育委員会とのタイアップ
- ・教材代(看板)

（１０）後免地区

後免 地区

1 班



目指すべき将来像(テーマ)

・子どもが集えて、高齢者が安心して住めるまちづくり／人が集まるごめん地区

サブテーマ
・魅力あるまちづくり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・ごめん町をアケードギャラリーに
- ・老人向けの公民館活動の活性化
- ・良心市、トラック市
- ・小、中学の休みに集まる昔遊び、工作教室
- ・歩行者天国に(時々)

自分でできること「自助」

- ・花を植える(プランター)
- ・掃除
- ・囲碁、将棋の呼びかけ

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・公民館の建て替え
- ・商工会とタイアップ
- ・栄町公民館と統合
- ・駐車場の確保

サブテーマ
・安全なまちづくり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・災害ごと(津波、地震)の避難先を確認
- ・防災マップの周知
- ・連絡網づくり ・緊急連絡先の整備、調査
- ・避難一覧表づくり、貼り出し
- ・自主防災のための人づくり

自分でできること「自助」

- ・注意喚起
- ・防災セットを用意する
- ・高齢者への負担、声掛け
- ・住宅の耐震強化、チェック
- ・防災意識を得る

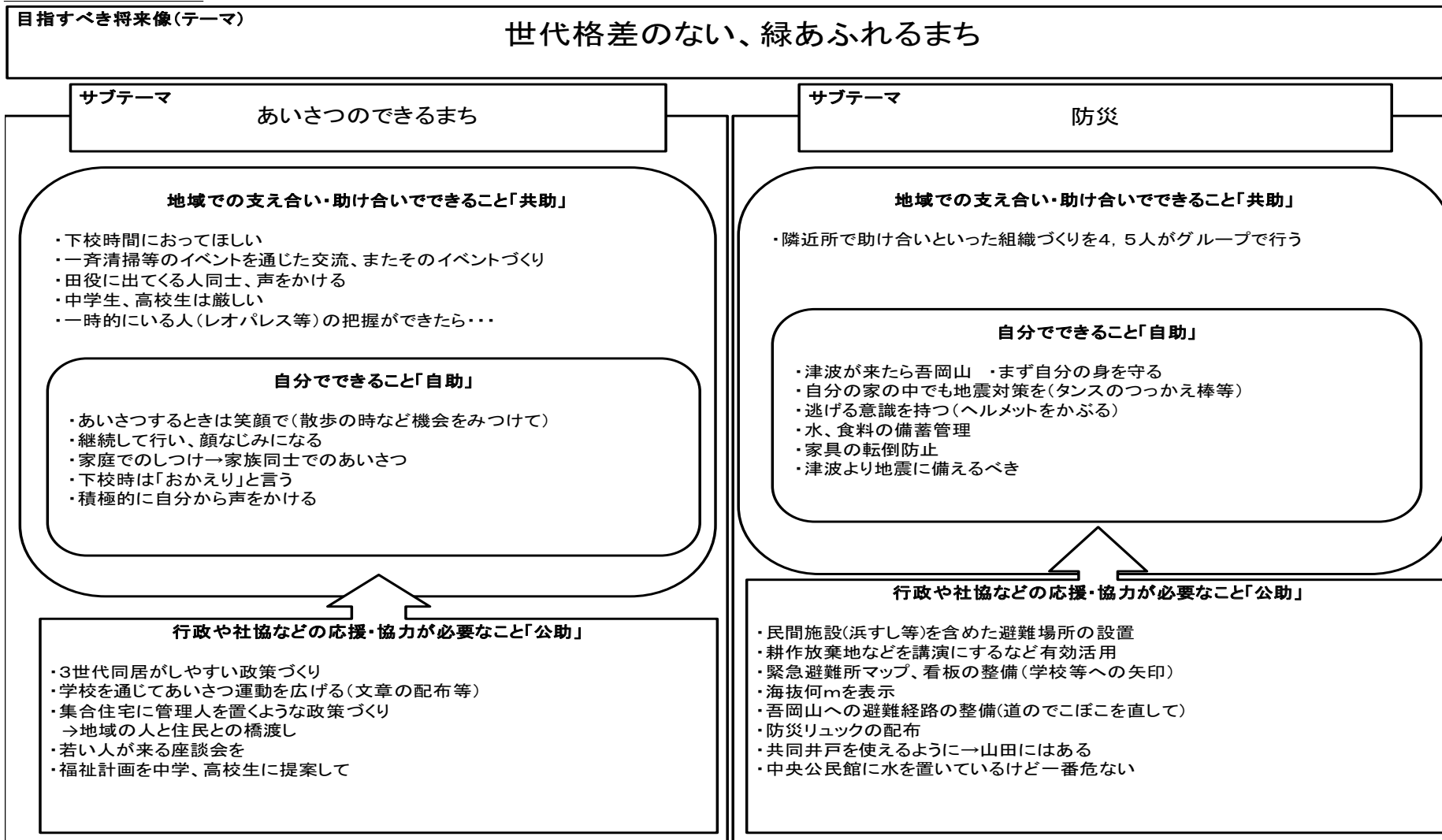
行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・空き家の処分

（１１）大篠地区

大篠 地区

1 班



目指すべき将来像(テーマ)

お互いの顔が見える大篠地区

サブテーマ

災害に強い大篠地区

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・防災訓練、資機材のチェック
- ・JA病院との協定、周知
- ・班単位の活動を活発にする
- ・転入者への声掛け(分かる範囲で)

自分でできること「自助」

- ・水、食料の保管(風呂の水を残す)
- ・家具の固定
- ・リフォーム(耐震)
- ・非常時持出袋、枕もとに履物を用意する
- ・向こう三軒両隣への声掛け
- ・回覧範囲の人の把握

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・転入者へのハザードマップの配布
- ・防災チェックシートの配布(各戸へ)

サブテーマ

集まりの場所づくり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・地域の人材発掘と学校への紹介
- ・世話好きを見つける
- ・小学校行事へ積極的に参加する→学校へ呼びかけ
- ・公民館の活性化(いろいろ活動を仕掛ける)
- ・先やりを育てる(育てたい)

自分でできること「自助」

- ・運動会への参加
- ・公民館活動への参加
- ・声掛け

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・地域と学校との交流、接点づくり

大篠 地区

3 班

目指すべき将来像(テーマ)

地区、部落全員があいさつできる地域

サブテーマ

つながりづくり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・声を掛けても、今の子どもは声が小さくて聞こえない
- ・地区の子どもを掌握する
- ・「知らん人と話をせられん」と教育されている
- ・運動会の慰労会
- ・行事の案内をする→マンション等の人には声かけをしなくなった
- ・役員をしていないと人を知らない
- ・世代のつながりはあるが、世代間のつながりが無い
- ・新興住宅はあいさつが少ない(部落に入らない人もいる)

自分でできること「自助」

- ・まず、年寄が先に声をかける
- ・親との会話が無いのでは
- ・あいさつ・でしゃばり(嫌口も言われる)
- ・一人暮らしの所への声かけ
- ・積極的に話に行く
- ・親のしつけ

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・お年寄りで耳が聞こえない人へ補聴器の貸与

サブテーマ

行事の継続

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・氏神様のお祭り
- ・地域でつながりをつくる→吾岡山の清掃に参加
- ・リーダーづくり
- ・地域で助け合うゴミ拾い
- ・月1回の水路清掃
- ・班のつながり

自分でできること「自助」

- ・人が減っている
- ・参加する
- ・田役に出る、その後慰労会に出る
- ・率先して出る
- ・誘い合い
- ・先立ってやる人になる
- ・近所づきあい→昼は顔をあわせれん

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

目指すべき将来像(テーマ)

子どもからお年寄りまで笑顔で暮らせる安全安心のお節介なまちづくり

サブテーマ

地域行事でつなぐまちづくり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・いろいろな関係者を呼んでの交流(世代間交流)
- ・趣味の多様化で団体活動が減少
- ・昔遊びの伝承
- ・学校授業の一環で行事を行う
- ・小部落での行事の内容を考える
- ・地域性に応じて行事を行う
- ・行事を通じて「学ぶ」→餅つき等
- ・アパートでも年1回の初寄りをを行う
- ・意見交換(ストレス発散?)

自分でできること「自助」

- ・あいさつ運動
- ・行事に積極的に参加する
- ・若い人(子ども)に出てきてもらう声かけ

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・補助金を

サブテーマ

不安解消！お節介なまちづくり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・枠にとらわれないまちづくり(個人情報保護法関係なし)
 - ・集団下校の復活
 - ・価値観を共有する
 - ・自主防の活動等を通じての見守り
 - ・部落行事を考える
- <共通>
- ・大篠全体でルールづくり
 - ・飲み会に引っ張り込む
 - ・顔が見える関係づくり(アパート等の方は履歴書の提出)
→家主を巻き込む

自分でできること「自助」

- ・自分のことを知ってもらう(壁をつくらない)
- ・人のことを気にする(気掛ける)

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・ケース会の実施
- ・集めた情報をどこまで共有するか！

大篠 地区

5 班

目指すべき将来像(テーマ)

子どもからお年寄りまで生きがいをもって笑顔で挨拶ができる田園都市 大篠

サブテーマ

コミュニケーションづくり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・まつりを作ろう
- ・一人一役の役割
- ・防災訓練
- ・公民館に集まる
- ・地域へ出て行く→あいさつが返ってくる
- ・ラジオ体操
- ・リーダーをつくる
- ・地域の絆づくり

自分でできること「自助」

- ・稲吉地区のまつりへ参加
- ・あいさつ運動
- ・資金を出そう
- ・たくさんの人を巻き込む
- ・町立記念日を立ち上げる
- ・始めたことは少しでも続けよう
- ・行事への参加の呼びかけ→一人でも多く

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・集まる場所
- ・アイデアの提供
- ・人材の協力

サブテーマ

環境づくり、ECO、住みよいまちづくり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・今日は何の日を町内で決めよう→放送をする
- ・若い人(新しい入居者)にゴミの出し方を徹底
- ・町内でいろんな集会をつくる
- ・町内での一斉清掃
- ・見守りを兼ねてゴミ拾いをする

自分でできること「自助」

- ・ゴミの分別
- ・マイバック
- ・川へゴミを流さない

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・各地区の情報提供
- ・年1回以上の施設の見学(バス等の提供)

(12) 日章地区

日章 地区

1 班

目指すべき将来像(テーマ)

みんなが日章に住みたいと言える地区！！

サブテーマ

日章の名前を広げ、子どもも好きな日章地区

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・魅力ある催し、公民館を中心とした活動
- ・フェスティバルを宣伝する
- ・特産品をつくる
- ・子どもが興味を持つように、大人と子どもと一緒に稲刈りが終わった田を利用する→イベント、マウンテンバイク、鬼ごっこ
- ・子どもと地域の人と一緒に交流→給食の試食会
- ・学校を中心に地域を取り込む
- ・自然が多い→守っていききたい→物部川を守る歌をつくる

自分でできること「自助」

- ・歴史を知る
- ・あいさつができる

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・広報に載せる
- ・文化ホールをつくる

サブテーマ

子どもも高齢者も安心して集まれる日章地区

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・地域のつながり→子どもが地域を結び付けていく
- ・集まれる場所がほしい→サロン(趣味でのつながり)
- ・老後が安全、安心した地区づくり
- ・定年になった人の不安を聞く→不安を解消するために話をする場をつくる
- ・励ましのネットワークがほしい
- ・逃げる人を任命→集団本能を利用する

自分でできること「自助」

- ・いろんな会に積極的に参加する
- ・子どもと一緒に地区の集まりや行事に参加する

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・人口を増やす→市街化区域へ
- ・働く企業が無い→企業誘致

目指すべき将来像(テーマ)

深い絆でつながり、思いやりを持って安心して暮らせる日章地区

サブテーマ

自然と集まれる場所づくり(公民館)

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・ゴミの整理を力を合わせてやる
- ・男の料理教室→後はお客
- ・おせっかいをやく、楽しむ
- ・日章まつり→子どもを集める、大人達はビヤガーデン
- ・声をかけあう

自分でできること「自助」

- ・料理教室を開き、人々の集まる場をつくる
- ・子どもと高齢者が集える場所づくり
- ・学校に来てもらう機会を意図的に仕組む
- ・子どもたちへ公民館の開放
- ・朝夕のあいさつ
- ・「手伝って」と声をかける

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・情報提供

サブテーマ

学校を核とした地域づくり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・じいちゃんばあちゃんと子どもたちのじゃんけんぽん大会

自分でできること「自助」

- ・近所づきあいを密に、イベントなどに声をかけ誘い合う
- ・参加できるシステムづくり
- ・学校の情報発信
- ・学校に足を運ぶ

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

目指すべき将来像(テーマ)

日章地区民 みな親戚

サブテーマ

つながりづくり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・助け合いネットワーク(向こう三軒両隣)をやっている
- ・行事を増やす
- ・公民館地域参加のイベントを企画
- ・軽トラ市(10周年記念)、下駄飛ばし等のイベント
- ・無線を活用したPR
- ・小学校、幼稚園と地区とのつながりづくり→子どもと親の参加
- ・PTCA→学校を中心にした地域との活動をよくする

自分でできること「自助」

- ・挨拶から
- ・友達を増やす
- ・地域の行事等に参加(保育)
- ・イベントに参加
- ・イベント等への参加呼びかけ

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・調整区域の解除

サブテーマ

リーダーの育成

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・青年部の育成(50歳未満)→公民館に参画
→若者に役割をあたえる(やる気にさせる)
- ・飲む会場、機会づくり→コミュニティづくりが必要
- ・小、中を地域(農業)を参画させる
- ・若い人も含めたワークショップ
→若い公務員が地域で活動すること(リードすべき)

自分でできること「自助」

- ・若者の意見をよく聞いてやる
- ・リーダー育成の必要性を地域に知らせる

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・地区の若い公務員は活動に参加しなさい
- ・公民館長レベルの集まりだけでなく、現場レベルでの集まりを

目指すべき将来像(テーマ)

今ある日章地区の良さを活かし、地元の人たちの子孫が住み続けられる魅力ある地域づくり

サブテーマ

子どもたちお年寄りの住みやすいまち

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・大湊は地域の見守りが6, 7年になる(日章は1, 2年)
- ・学校の呼びかけが大事
- ・家があったら安心
- ・地域の見守り
- ・地域の事業と一緒に参加する
- ・世代間の交流会をする→地区民運動会等
- ・日章公民館10周年イベントのようなイベントを続けたい
- ・収穫祭(各部落で屋台を出す等)
- ・神社の縁日に夜店がない

自分でできること「自助」

- ・安全、防犯
- ・声を掛けあえる、あいさつの励行

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・家を建てれるように ・街灯で安心 ・王子川の堤防を綺麗にする
- ・通学路を確保 ・赤線を整備
- ・日章は広い→交通の便が悪い

サブテーマ

自然環境の整備

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・蓮華の花でまちおこし
- ・遊山(自然と遊ぶ) ・ガキ大将がいれば年齢(縦)で教えることができる
- ・川で遊ばせる(危ないということを覚える)→自然もいっぱい
- ・危ないので「行かれん」「せられん」はどうか
- ・教えるには体験が必要

自分でできること「自助」

- ・ゴミを捨てない(拾う)→拾っていたら捨てなくなる
- ・久枝では老人クラブ会長が「散歩するときはゴミひらおう」と声掛け
- ・生きたものに触れさず体験
- ・物部川を大事にする

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・環境調査

(13) 岩村地区

岩村 地区

1 班

目指すべき将来像(テーマ)

地域が一つになり、子どもから高齢者までいきいき暮らせる岩村地区

サブテーマ

地域の絆を強くするには…

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・大人から子どもに挨拶をする
- ・回覧板を回す際、声をかけて情報交換
- ・会う回数が少なくなった人への声掛け
- ・コミュニケーションのきっかけづくり(子ども⇄大人)
- ・共有できるテーマを育てる
- ・子どもと高齢者の交流会を増やす(顔や名前を覚える)
- ・小部落の公民館を沢山利用する
- ・何事も継続して取り組む
- ・大人同士の絆を強めよう

自分でできること「自助」

- ・行事への参加等、隣近所への声掛け
- ・楽しいことを発表する
- ・行事の企画(計画)を積極的に行う
- ・親子での活動機会を増やす
- ・飲み会を増やす
- ・組織に加入し、行事に必ず参加する

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・地域の活動を出来るだけ把握してほしい
- ・少額でも予算化
- ・補助金の使途に対しもう少しゆるやかにしてほしい

サブテーマ

楽しくいきいき暮らすには…

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・年1回の敬老会への参加を勧める(70歳になった方へ特に！)
- ・子どもたちを中心として老人を外へ連れ出す催し物を多くする
- ・イベントや祭り
- ・声掛けと見守り
- ・サークル活動(組織)を増やす

自分でできること「自助」

- ・健康に留意して出来るだけ外出する
- ・ウォーキングを習慣づける
- ・隣人と積極的に話をする(挨拶も)
- ・今やっていることを継続する(趣味も含めて)
- ・サークル活動に参加し、友達をたくさん作る(情報を得る)

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・横の連携をとってほしい

目指すべき将来像(テーマ)

人が増え、地域が賑わい、皆でお酒が飲める岩村地区

サブテーマ

人を増やそう

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・結婚相手のお世話
- ・岩村ののどかさを守っていく
- ・積極的に岩村の良さをPRする
- ・岩村に体験留学してもらう
- ・場所を提供してくれる方と外から来た方に対して公民館が窓口になり仲介する
- ・空き家、田んぼ、畑の提供
- ・Iターン促進(インターネットの活用)

自分でできること「自助」

- ・子ども同居

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・ライフラインの充実→水
- ・若者の働ける場(企業誘致)
- ・調整区域

サブテーマ

和気藹々

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・簡単で取り組みやすい催し物をもっと
- ・運動会(小規模な)の復活
- ・地域の一体感が実感できるものを
- ・子どもを含めみんなが参加できるイベント
- ・岩村選抜VS他地区の競争ができる行事
- ・バスや公民館を活用し、いろんな場でお酒が飲める環境づくり
- ・みんなで一つのことをする機会づくり→お客を通じて子どもとつながる
- ・子どもが主役の行事をつくる→子ども神輿

自分でできること「自助」

- ・あいさつをする
- ・地域の催し物に参加する

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・運動会などイベントに必要なものを用意

目指すべき将来像(テーマ)

岩村地区の元気の源は笑顔から

サブテーマ

地域がつながりやさしい岩村地区

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・子どもに顔を知ってもらう→親を連れ出す
- ・一緒になって声を掛けあって同じことをする
- ・地域マップの作成→近所を知る、近所同士気に掛ける

自分でできること「自助」

- ・積極的に自分から行事へ参加
- ・連れ出し上手になる(声掛け、顔を合わす)
- ・行事等へ参加しやすい雰囲気、環境づくり
- ・行事へ参加する前に参観場所確保
- ・飲み会や食事会を献立する
- ・自己発信(自分の情報を)

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・子育ての親の集まれる環境、場所づくり
- ・情報提供
- ・補助金

サブテーマ

あいさつから始まる岩村地区

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・地区内での小学生のあいさつ→学校へ提案
- ・月1回、声掛け運動の日をつくる
- ・貯筋運動→あいさつのきっかけ
- ・各世代の声や話を聞く→つながりをつくる→あいさつへ

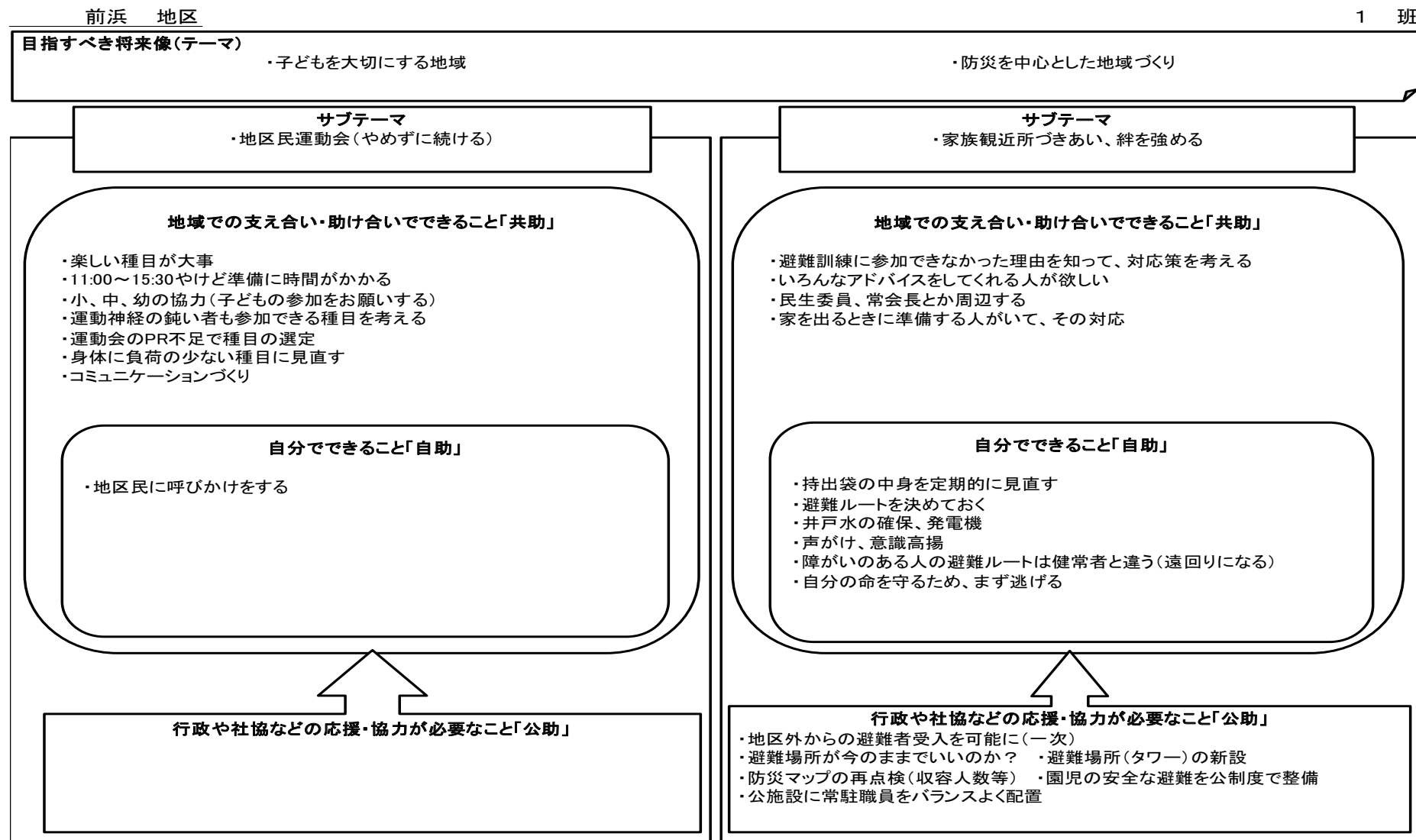
自分でできること「自助」

- ・自分から明るく、元気に、大きな声であいさつ
- ・家庭でのあいさつ
- ・子どもに積極的にあいさつ
- ・気持ちよく電話対応

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・市役所の総合案内でのあいさつ
- ・各地区の取り組みの周知、広報活動

（１４）前浜地区



目指すべき将来像(テーマ)

元 気 が 一 番 前 浜 地 区

サブテーマ

・人のふれあい・元気のつながり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・人が集まる行事をする→敬老会、冠婚葬祭→声掛け合う
- ・餅つきで交流
- ・集いの場(話し合いの場)を設ける
- ・祝い事を公民館でする
- ・まつり(えんこう祭り)への参加
- ・地区の情報を流す
- ・飲んで話す
- ・交番での情報
- ・今は娯楽がある、家でおれる
- ・子どもが外へでない
- ・昔は外で遊ぶしかなかった

自分でできること「自助」

- ・声掛けをする
- ・あいさつ、会話
- ・気持ちの持ちようで年が変わる
- ・年が寄っても人の為に働く
- ・人を見かけたら声を掛けるよう心がける
- ・歳を忘れる

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・出産で金一封を出す

サブテーマ

・子どもの元気な姿を見よう

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・人口減、仕事が少ない、県外で就職する
- ・人が年々変わっていく
- ・子育て不安
- ・県外へ行き戻ってこない
- ・人が多くなれば地域を支える
- ・子どもを地域が見る
- ・ミニボランティアデーをやってみれば?
- ・あいさつ運動

自分でできること「自助」

- ・昔は世話好きのおばさんがいて、出会いをつくってた
- ・出会いの場をつくる
- ・子どもにあいさつ→大人から声を掛けてあげる
- ・あいさつすると自分も楽しい→元気をもらう

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・子育て支援が少ない
- ・地区へのアドバイス

目指すべき将来像(テーマ)

助け合いで安心して暮らせる地域へ

サブテーマ

・次世代へ繋がっていく地域

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・隣近所が仲良くすること
- ・自主防とか昔は60歳以下→若い人を引き込むためのルール
- ・自主防を活動の核にしたい
- ・地域の組織の存在を知らず(若い人に知ってもらいたい)

自分でできること「自助」

- ・若い人とのコミュニケーション
- ・ヨガ、参加者を集める声掛け
- ・人材育成→呑み会
- ・後輩が動きやすい環境づくり
- ・集まりに参加できる雰囲気づくり→呑み会
- ・行事へまずは参加
- ・運動会へ誘う→若者の種目をつくる、強制的に引っ張り出す
- ・世代交代、先やりがいがないことが課題

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・補助金(絆を深めるためのお金、社協)
- ・制度についてのお知らせをもっとほしい

サブテーマ

・買い物のできる地域

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・料理教室を開く→みんなで集まる、みんなで買い物
- ・生協でのグループ買い物(宅配)

自分でできること「自助」

- ・あきらめないこと！
- ・地区のバスを出すように訴える
- ・現状把握する(調査する)←要望者(高齢者)の
- ・何人か乗せて買い物に行く(事故、トラブルが心配)

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・行政のスピードアップ(いろいろな施策)

(15)三和地区

地区 三和

グループ 浜改田

テーマ

安心して暮らせる浜改田

サブテーマ

災害に敗けない浜改田

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・ 避難訓練
- ・ 避難路の確認
- ・ 近所つきあいを良好に
- ・ 災害状況等の情報収集方法等の確認
- ・ 要支援者とのコミュニケーション充実
- ・ 逃げる、体力、体力向上
- ・ 家族での話し合い（どこへ避難するか…など）決めておく
- ・ 灯りの準備
- ・ 葉の準備！！
- ・ 絶対薬を忘れない事

- ・ 日頃からのおつきあい
- ・ どの部屋に居るのか
- ・ 要支援者のリストアップ
- ・ 誰が助けに行くのか？
- ・ 隣への声をかけながら逃げる
- ・ 日頃から向こう三軒両隣の連携を！
- ・ 大声を出して逃げる
- ・ 避難訓練
- ・ 危険場所の確認
- ・ 避難訓練で時間などの現状把握

- ・ 浜田地区を入れよ！
- ・ ぬけた部落への声かけ、働きかけ（100戸）
- ・ 自主防の連合化
- ・ 防災のけいもう
- ・ 新しく高い山、琴平山です

- ・ 避難物資の確保
- ・ 琴平山の避難所にトイレを建設して下さい
- ・ 高台避難（こんびら）整備
- ・ 生命を守る避難タワー
- ・ 避難タワーの新設（200m ごとに）

行政や社協などの応援・協力が必要なこと

サブテーマ

世代間交流

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・ 日頃からの近所への声かけ
- ・ 井戸端会議的な世間話の場
- ・ 横のつながり（顔を知る）
- ・ 公民館等集う
- ・ 海辺のサロン
- ・ ポスター作り
- ・ 行事参加と飲み会
- ・ 行事への参加（運動会、祭りなど）
- ・ 行事への参加呼びかけ
- ・ 昔、今、これから、そのような話をしてほしい（飲み会でも）
- ・ 各種行事へ参加する
- ・ 運動会への参加

- ・ 海辺のサロンをつくってやっているけどまだまだです
- ・ 公民館同士の交流（えんりょ）
- ・ みわ祭参加、地区民運動会参加、里帰りの推進

- ・ 花見フェス、飲んで歌う
- ・ カラオケ大会
- ・ 三和桜フェスティバル、開催決定
- ・ 三和祭り、もっと頑張れ
- ・ 三和祭りのPR（8／20）（招待）
- ・ 子供も参加
- ・ 里心、里帰り、魅力は？
- ・ 運動会
- ・ ふれあい弁当、楽しみに待っている
- ・ 配食弁当、目でも楽しめるように気を配っている
- ・ 配食弁当作る方も一生懸命

- ・ 公民館に対して助成を
- ・ 三和ふれあい交流プラザの新設
- ・ 助成金
- ・ 自立した活動に最後はしたい

行政や社協などの応援・協力が必要なこと

地区 三和

グループ 片山

テーマ

健康・防災・人とのつながり！

サブテーマ

健康

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・ 食事
- ・ 野菜を先に食べる
- ・ 休肝日
- ・ 21 時以降は食べない
- ・ ウォーキングをする
- ・ 認知症予防、体づくり、介護いらず
- ・ 太極拳をすると健康になる
- ・ スポーツセンターの利用
- ・ 外で話しをする
- ・ 趣味を持つ
- ・ いきいき活動
- ・ 検診をする

- ・ 声かけをする

- ・ 地域でのサロン立上げ
- ・ 地域の診療所が欲しい

行政や杜協などの応援・協力が必要なこと

サブテーマ

防災

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・ まず逃げる
- ・ 逃げる準備（自分の為の）
- ・ 情報の確保（ラジオ等）
- ・ 家族の集合場所を決めておく
- ・ 耐震補強しておく
- ・ 車の中に脱出用の器具をおいておく
- ・ 枕元にクツを置いておく
- ・ 暗いところでクツをはく練習
- ・ 水と食料の確保を自宅でする
- ・ パールの活用

- ・ 「絵金」の絵を守る
- ・ 避難所を知っている
- ・ 助ける人の優先順位づくり

- ・ 行政は待っていても助けてくれない（自ら動く）
- ・ 自主防組織の充実と見直し
- ・ 部落の自主防災会の人を定着させる（一年で交代ではなく）
- ・ みんなで部落長を支えるいきづくり
- ・ 防災時の道具をそろえる
- ・ 発電機、草刈り機など一台ずつ増やす
- ・ 防災訓練をする（昼・夜）
- ・ 身近な避難場所の把握（いざという時）

- ・ 名簿（介助がいる方）づくり **至急**
- ・ 情報（名簿）の共有するしくみづくり
- ・ 避難所見直し

行政や杜協などの応援・協力が必要なこと

地区 三和

グループ 里改田

テーマ さらに魅力のある里改田

サブテーマ

どう子供を支えるか！！

子供
(小学校)
40人弱

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・ 先ず知る
- ・ 子供さんを知る事
- ・ 子供さんに知ってもらふ事
- ・ 声を出すこと
- ・ 路上での声かけ
- ・ 子供に出会った時は必ず声かけにつとめ、笑顔で接する時間を
- ・ 子供の見守り
- ・ 子供見守り、登下校の時声をかける
- ・ (子供)家のまわりで子供が危ない遊びをしていたら注意する。通学路で気をつける
- ・ 見守隊へ入る

中高生

- ・ 寄り添いがたい
- ・ あいさつはする
- ・ 声掛け
- ・ あいさつ→会話

- ・ 子供会を作る予定
- ・ 夏休みのラジオ体操をし健康を見守る
- 〈学校〉 学校と地域と一緒に
- ・ 物品販売への協力
- ・ 子供と一緒に→地区とのつながり
- ・ 資源回収への協力・年2回
- ・ 三和サポーター・読み聞かせ・草引き

行政や社協などの応援・協力が必要なこと

サブテーマ

どう高齢者を支えるか！

地区での支え合い・助け合いでできること

隣近所・集落での支え合い

自分・個人でできること

- ・ [個人] 声かけを行う
- ・ 近所の高齢者声かけ
- ・ 声かけをする
- ・ [個人] 独居老人宅を見守る
- ・ 声かけ、見守り(一人くらし)
- ・ 安否の声がけをしてあげる、遠くから見守る
- ・ 敬老会への参加 声かけ 70歳～
- ・ 会ったらあいさつなど会話をする
- ・ 一人が一人をさそうように
- ・ 外出をおくさず行事に参加
- ・ 外出することで人とのコミュニケーションを持つこと

子供と高齢者の
交流会
(学年単位)

老・壮若の接点

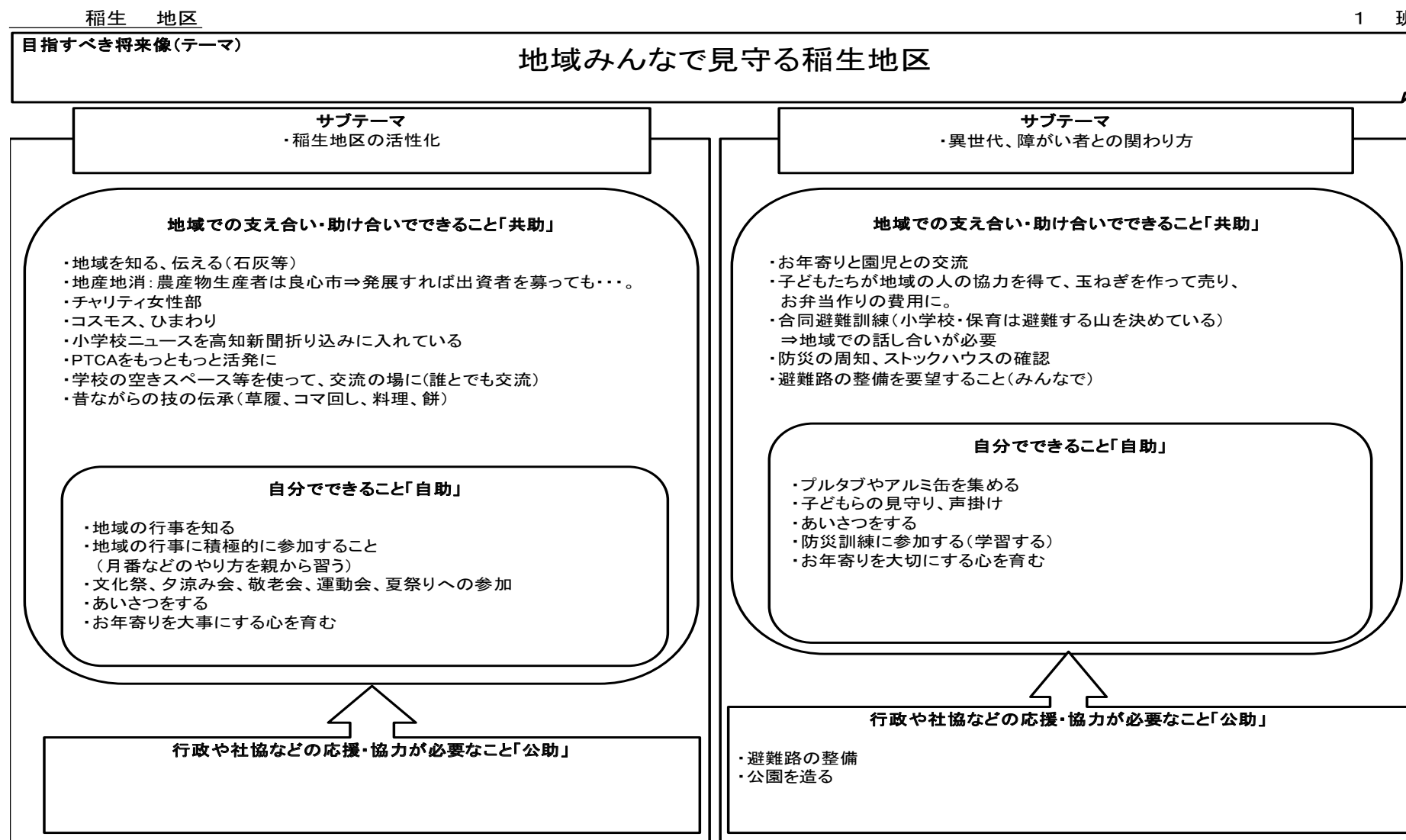
- ・ 班ごとに相談にのる人がいれば良いのでは…
- ・ どこで寝ているか知る
- ・ [隣近所] 情報収集につとめる(努力する)
- ・ 集まる場所を設ける
- ・ 井戸端会議をする
- ・ 常設の集い場が欲しい、毎日集まれる場所

- ・ 必要とする
- ・ クラブ活動を活発化する(趣味など)
- ・ サロン 10月～1月(おしゃべりの場)公民館
- ・ ふれあいの場所作り

- ・ 正しい情報の発信→地区ごとに会の開催

行政や社協などの応援・協力が必要なこと

（１６）稲生地区



目指すべき将来像(テーマ)

安心して働きに出れる地域、健康で生活できる地域

サブテーマ
・絆を取り戻す

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・声掛けをする
- ・近所の様子を気に掛ける
- ・公民館長などの役を家順で担当する
- ・自主防災組織をつくる
- ・ゲートボール場を集合場所にする
- ・若者の出番をつくる
- ・ゲートボール場を整備して交流する場に

自分でできること「自助」

- ・相手の立場を思いやる
- ・地区の役を引き受ける
- ・防災の手伝い
- ・防災の訓練に参加する

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・防災への情報提供

サブテーマ
・協力し合える地域

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・老人会を復活させる。敬老会を続けていく
- ・運動会の時に地域全体で防災訓練をする
- ・地区で使用する防災設備を置く。拠点を作る
- ・手伝いの輪を少しずつ広げていく
- ・子どもを地域で見守る
- ・日赤の講習等に参加する

自分でできること「自助」

- ・イベントでの援助の声掛け
- ・家庭内で自分だけでも運動会等に参加する
- ・防災訓練で他の人のことも思いやる
- ・災害時に自分の身を守るように準備する

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・部落公民館の耐震工事

稲生 地区

3 班

目指すべき将来像(テーマ)

- ・調整区域を外し住宅と人口を増やす。稲生へ安住を。
- ・特産品づくり→就労増、若者の安住を
- ・小学校が核→(子ども、人口増を)

サブテーマ

- ・災害を考えるまちづくり！

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・年1回は稲生全体で防災訓練を
- ・避難場所の共通理解(各部落で)
- ・公務員を辞めた者は10年間奉仕を
- ・若い人の関わり(後継者をつくる)
- ・部落長、館長等を若い者にしてもらう

自分でできること「自助」

- ・若い人には声を掛けている
- ・説明会に参加する
- ・とにかく逃げる
- ・自分の身は自分で守る
- ・実地で訓練を⇒細かなことが分かる

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・行政も行革を⇒同じような活動が担当課が違っていくつもある
- ・避難勧告、指示が弱い⇒命令をしてほしい

サブテーマ

- ・子どもを守るまちづくり

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・開かれた学校づくり→30名
- ・見守り隊の緑のベスト⇒散歩のときだけでも良いので着てほしい
- ・コスモスの花(小学校の周囲、散歩道)皆の集まる土地へ
- ・衛生委員の方に協力してもらい緑のベストを着てもらう
- ・見守り隊の関係者が減少している
- ・いろんな団体と一体的に活動をする
- ・自治会への呼びかけ
- ・いろんな人に関わってもらう
- ・親の教育が必要

自分でできること「自助」

- ・行事に参加する(顔の見える関係づくり)
- ・学校に関わるきっかけづくり
- ・趣味を生かしたきっかけづくり
- ・普段の何気ないあいさつ
- ・ベストを着て見守る

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・行政を引っ張り込む

目指すべき将来像(テーマ)

・家族制度復旧の町を目指す ・昔ながらのエコを上手く活かし、先進的な取り組み ・家族のつながりを取り戻す ・みんなの憩いの場、居場所をつくる

サブテーマ

・地域の防災力を強化し、それに合わせた憩いの場をつくる

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・炊き出し(みんなであるものを持ち寄る、訓練を行う)
- ・子どもから高齢者までが集まった防災訓練(企画)
- ・防災備蓄の管理、整理⇒業者に頼むのも一つの手
- ・転入者に対する避難経路、場所の周知
- ・「三軒両隣」声を掛けて助け合い避難
- ・一人で避難できない人を把握しておく
- ・憩いの場所、公民館の整備、集会場

自分でできること「自助」

- ・自分の身は自分で守る、第一自分で避難する
- ・避難場所の確認と、到達時間
- ・土砂崩れなど危険個所の把握
- ・非常持出袋の準備(現金、乾パン、テント、シート)
- ・集まりに参加する
- ・防災グッズ、特に履物の準備

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・防災無線の整備、みんなに周知できるように

サブテーマ

・地域おこし 先進的な取り組みを行う

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・「アレルギーに効く」など効果的なキャッチフレーズを考える
- ・大々的に売り出すなら、今よりも生産地を増やす
- ・見守り隊のベストは現在200枚ある
- ・PTCAを中心とした地域おこしの担い手(子ども)の育成
- ・見守り隊のベストを持っている人は全員着る事!

自分でできること「自助」

- ・びわ茶⇒風車市などに出しアピールする
- ・びわ茶加工の機械化⇒現在手作業
- ・びわ茶を口コミで知らせていく
- ・柿茶もびわ茶もあわせてアピールしていく

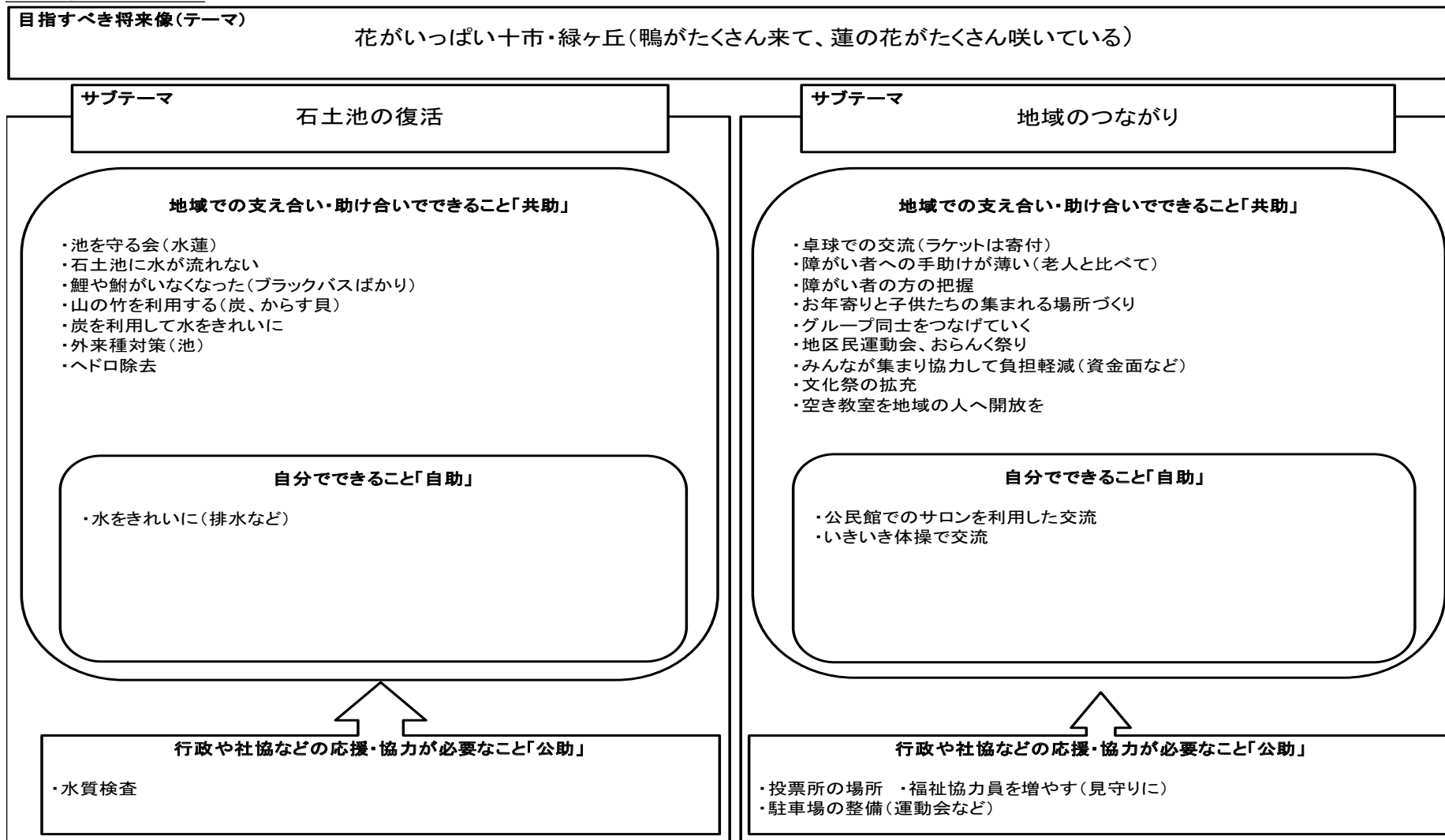
行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

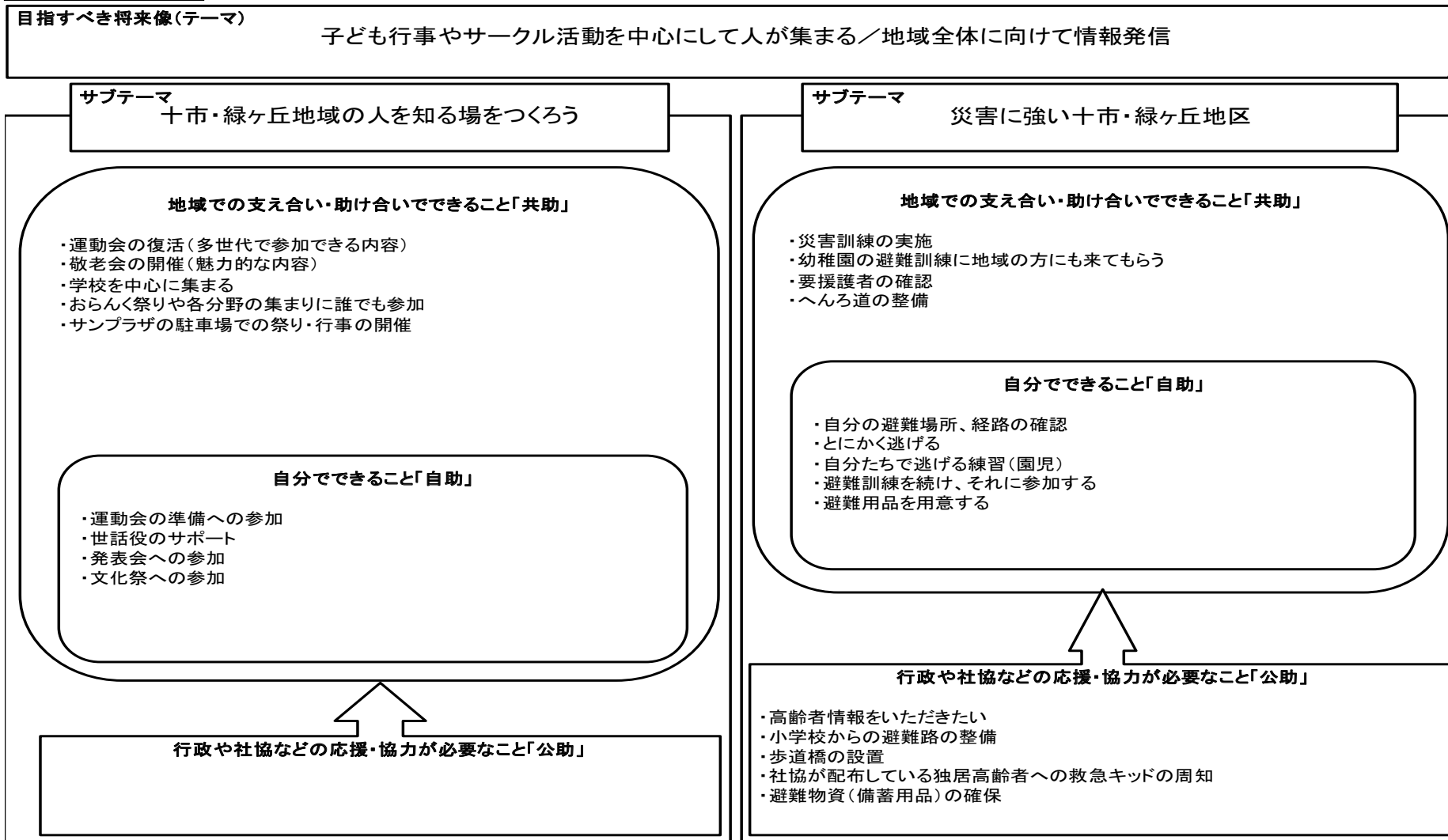
- ・市の広報やHPを活用してアピールする
- ・地域と県や関係各所との調整、仲介

（１７）十市・緑ヶ丘地区

十市・緑ヶ丘 地区

1 班





目指すべき将来像(テーマ)

地域全体が一体となって住みよくなる十市・緑ヶ丘地区

サブテーマ

みんなでつながる十市・緑ヶ丘まちづくりネットワーク

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・防災のための学習会
- ・地域で声掛け、世代を超えた友達をつくろう
- ・挨拶運動
- ・まちづくり委員会の設置
- ・地区別の代表者会をつくる
- ・組織の一体化
- ・敬老会を共に行う

自分でできること「自助」

- ・声掛け
- ・自主的に参加する
- ・連携や協力を求める

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・組織づくりをコーディネートしてほしい
- ・ウォーキング(歴史)

サブテーマ

日常的な交流で安全・安心のまち

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・活発なサークル活動参加でお互いを知ろう
- ・ふるさと祭りの創造
- ・皆で防災体験デーをつくる
- ・子どもとの協働
- ・芸能大会(のど自慢など)
- ・公民館、小学校を利用しサークル活動
- ・新聞を活用
- ・どろんこイベントから交流
- ・地産地消。鍋をやろうよ！

自分でできること「自助」

- ・自分から声を掛ける
- ・趣味を持つ
- ・挨拶
- ・池の周りのイルミネーション

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・地元の市の職員に参加してほしい
- ・場所、補助金の提供

目指すべき将来像(テーマ)

若者と高齢者が笑顔でふれあえるまちづくり

サブテーマ

地域の活性化のために

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・リーダー会をつくろう(年代別、グループ別)
- ・みんなでテーマづくりをする
- ・組織ごとに活動をPRする
- ・テーマをみんなに知ってもらう(広報活動)

自分でできること「自助」

- ・リーダー会のなげかけする
- ・後継ぎを育てる
- ・PRする(花いっぱい、駅伝とか)
- ・知らない人に行事等をどうやって知ってもらう?
- ・組織を洗い出す(社協、自主防、消防、体育館、PTA等)
- ・十市、緑ヶ丘を好きになる
- ・グループ内での意思疎通(情報の共有化)
- ・全てに関心をもつこと
- ・まずは積極的に参加する

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・イベント、会議への出席を各団体へ促す
- ・参加への呼びかけ
- ・社協団体ごとの活動内容をお知らせしてもらう

サブテーマ

具体的な取り組みとは?

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・駅伝大会、植樹祭、花いっぱい運動、文化祭
- ・収穫祭(スモモ、なし、ぶどう、ししとう)
- ・収穫祭を通じて婚活!
- ・果樹研究会へ協力依頼
- ・地域特性を生かした婚活
- ・カヌー大会
- ・仲人役の養成
- ・釣り大会(ブラックバス、ブルーギル)

自分でできること「自助」

- ・ウォーキング(みんなを誘う)
- ・石土池で何かイベントをやりたい

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・担当課がいろいろある。まとめられるの?

十市・緑ヶ丘 地区

5 班

目指すべき将来像(テーマ)

地域のつながりを大切にし、子どもから高齢者まで安心して暮らせる十市・緑ヶ丘地区

サブテーマ

地域のつながりをつくる

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・おらんく祭り、地区民運動会
⇒なくなった理由：人を集めるのが大変、イベント不足、駐車場問題
- ・文化祭
- ・町内会活動の活性化⇒おらんく祭りが継続できるのでは！

自分でできること「自助」

- ・町内会に役員として参加できるかのチラシ配布
⇒何ができる？（前日・当日・後片付け）
- ・参加者の呼びかけ、声掛け
- ・PRする、協力を頼む（口コミ）
- ・祭りや運動会を見に行く
- ・近所の人を誘う
- ・夜店を出店している関係者として、祭り運営の手伝いなら
できる
- ・清掃活動への参加
- ・敬老会の手伝い
- ・園児、児童への食育活動のお手伝い

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・補助金、PR、駐車場

サブテーマ

安心して暮らせる十市・緑ヶ丘地区

地域での支え合い・助け合いでできること「共助」

- ・十市、緑ヶ丘地区全体での防災訓練や炊き出し等
↓
各活動のリーダーが必要！

自分でできること「自助」

- ・高齢者と子どもの見守り
- ・日頃からの近所づきあい
- ・地域の清掃活動へ参加
- ・老人宅のゴミ出し
- ・県住内での防災訓練では炊き出しをやっている（自治会）

行政や社協などの応援・協力が必要なこと「公助」

- ・通学路に街灯を
- ・通学路の整備（自転車道）